

<令和5年度川崎市総合防災訓練に参加>

令和5年9月3日（日）に菊池会長と中村で川崎市の総合防災訓練に参加しました。南菅中学校を会場とし消防・警察・自衛隊など行政機関のほか東京ガス・東京電力・NTTなどの公的民間企業も多数参加しておりました。

川崎市歯科医師会は、避難所となった体育館にて医師・薬剤師・看護師・助産師・柔道整復師等と協働して避難者に対する診察の訓練を行いました。

我々多摩区歯科医師会は、川崎市行政歯科医師・歯科衛生士と共に校庭に設営されたテントブースにて「誤嚥性肺炎予防の重要性」について紙芝居やリーフレットを用いて来場者された市民の方々にご説明しました。

誤嚥性肺炎とは、食べ物や唾液に含まれる細菌が肺に入ることによって発症する肺炎で食べ物や唾液が誤って気管に入ることがきっかけで起こります。

災害時の慣れない避難所生活での食事の偏り、ストレスによる抵抗力の低下、インフルエンザ・風邪などの感染症の蔓延とともに、水不足で口腔ケアが満足にできないことも発症につながる可能性があります。

熊本地震（2016年4月）では災害関連死（肺炎・既往症の悪化・肉体や精神疲労などが死因）のうち28.4%が肺炎であったと報告されています。

日頃の口腔ケアはもちろん大切ですが、災害時にはより大切であり誤嚥性肺炎の予防になることを皆さんにも是非知っていただきたいと思います。

